

体験談レポート

ユーザー： S.N(30代・男性) 高知県
商品名： ニュウモラップジャケット
テスト日時： 2009年10月18日
アクティビティ： MTB(高知県 鳥形山)
テスト環境： 曇り時々晴れ 気温 12
当日のレイヤリング： ニュウモラップジャケット、
他社長袖ジャージ、サイクル用ベスト
フラッドラッシュスキムメッシュ



～アクティビティの行動範囲が広がる気がした！～

高知県仁淀川町に鳥形山という山がある。今回はこの山にヒルクライム&シングルトラックライドを楽しんできた。

この日は天気予報では晴れだが、時々小雨がぱらついたりとはっきりしない天気だった。風も強く肌寒い。こういう時は厚着で行きたいところだが800mアップのヒルクライムが待ち構えていることもあり悩むところだ。

今回のコースはスタート地点が標高550mでそこから800mアップの林道ヒルクライムをこなし、さらに約1kmのシングルトラックを登って展望台で折り返し戻って来るというものだ。準備も完了し、いよいよスタート。早速ニュウモラップの性能を試したいところだがこれからヒルクライム。熱くなるのが容易に予想できるので畳んでサイクルジャージの背面ポケットに収納した。ニュウモラップは軽い上に小さく畳めるのでかさばらないので走り邪魔になるような影響は少ないだろうと思われた。

心拍数を120~130位に保ちながら林道を登っていく。標高1,000mを越えると運動強度が低いためか寒くなってきた。ここでニュウモラップを着る。透湿性が高いため汗でびしょびしょにならない。更にベンチレーターを開けるととても快適になった。

ゴールの展望台まで残り1kmになって道はシングルトラックになる。後輪を滑らせないようにトラクションに気をつけながらペダルを踏む。視界が開け展望台に着いた。天気が良くないので絶景とはいかなかったが流れる雲の影が山々に写っていつまでも眺めていたい気分になった。展望台は風が強かったがニュウモラップの防風性で身体が急激に冷えることがなく快適に休憩をとることができた。

短い極上シングルトラックの下りを堪能して後は林道をゴールまで一気にダウンヒル！ここでニュウモラップの高性能を再確認できた。それは長いダウンヒルでも、身体が冷えないのだ。手先や下半身は薄着なので下るたびにどんどん冷えていくが、ニュウモラップで着ている部分は下り始めと変わらない。上半身だけ体温が違うのを体感でき不思議な感覚になった。

茶畑を抜けてゴール。3時間弱と長くないライドだったが静かな森の中を気持ちよかった。これから寒くなってアクティビティの行動範囲がせまくなるがニュウモラップがあれば、その範囲が少し広くなるような気がした。次は真冬の林道を今回よりも長く走ろうかと思う。そんな気を起こさせてくれたのがニュウモラップである。

